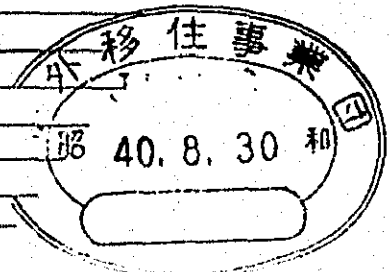
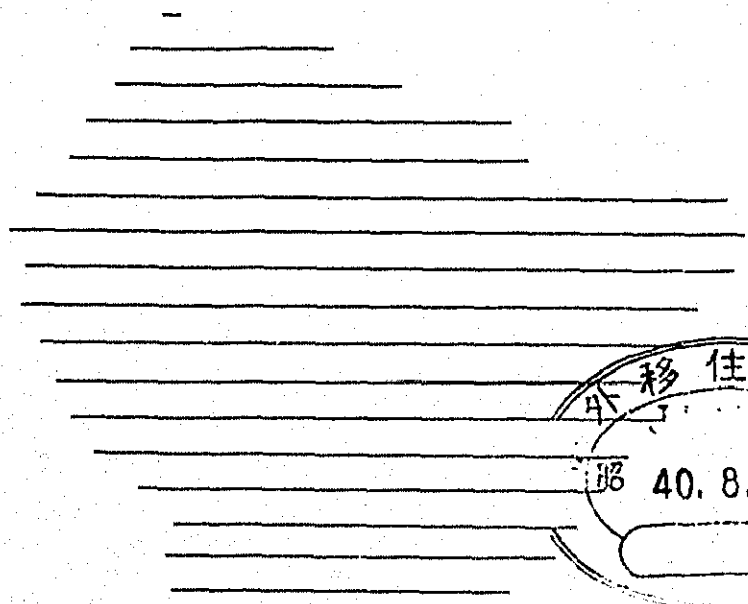


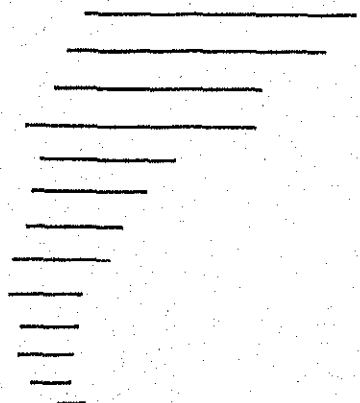
南米移住地地図

イグアスー, アルト・パラナ移住地

パラグアイ共和国



REPUBLICA DEL PARAGUAY

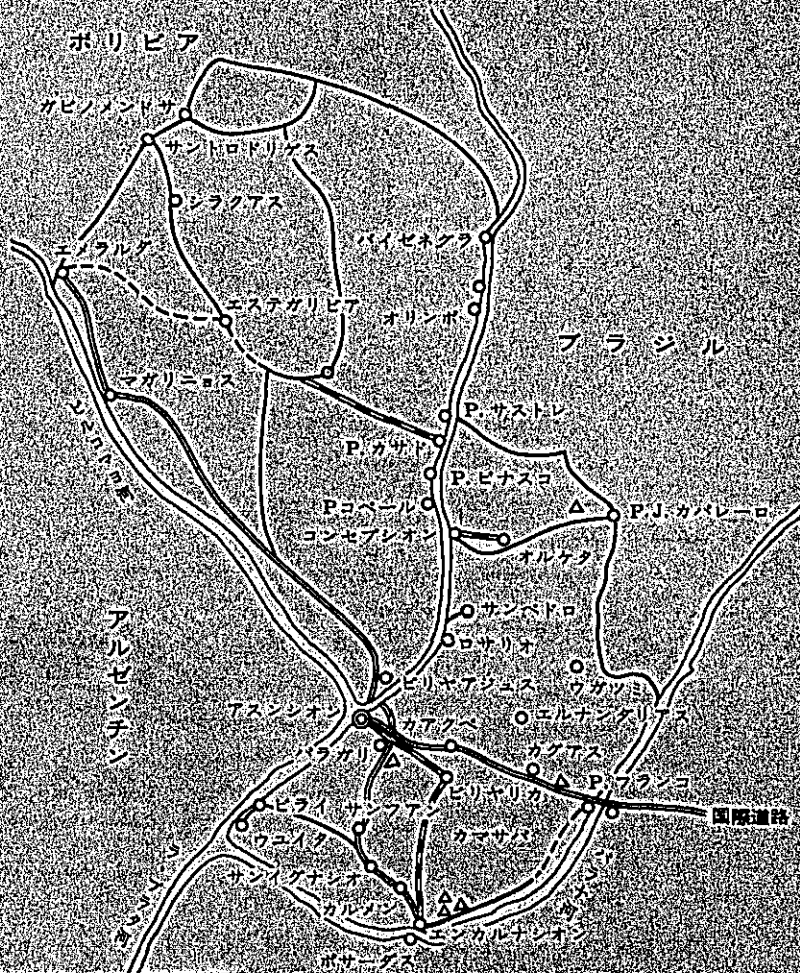


海外移住事業団

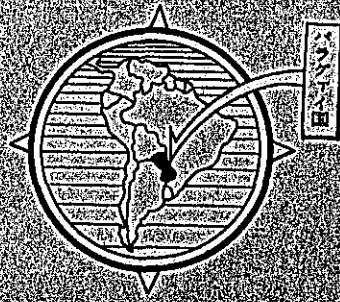
C/19

708
234
EM
LIBRARY

パラグアイ共和国

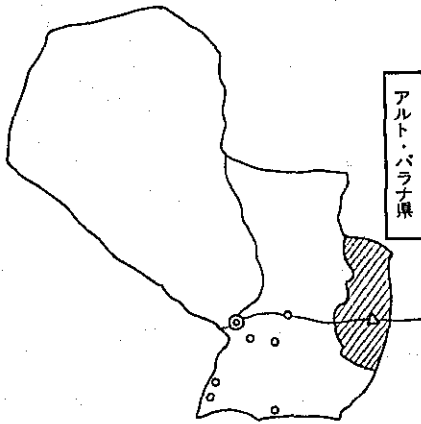


国際協力事業団	
受入 月日 84. 7. 27	708
登録No. 02819	23.4
	EM

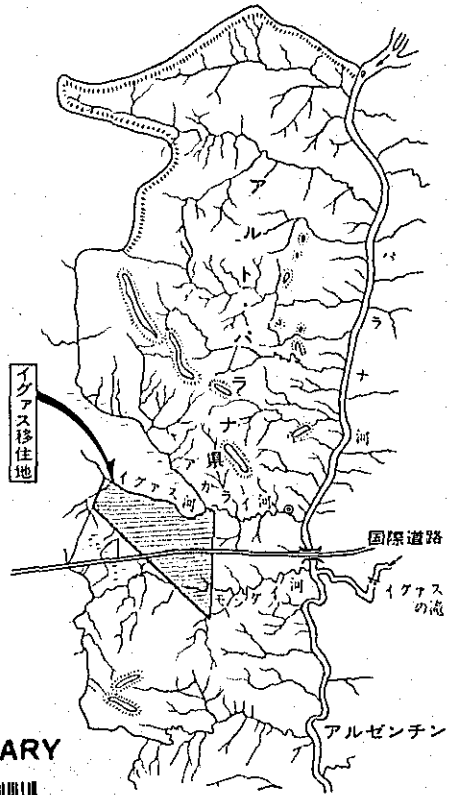


凡	例
◎ ○	首都・都市
~~~~~	河川
———	鉄道
———	国際道路
———	国道
△	移住地

イグアスー移住地



アルト・パラナ県



JICA LIBRARY



1028819[9]

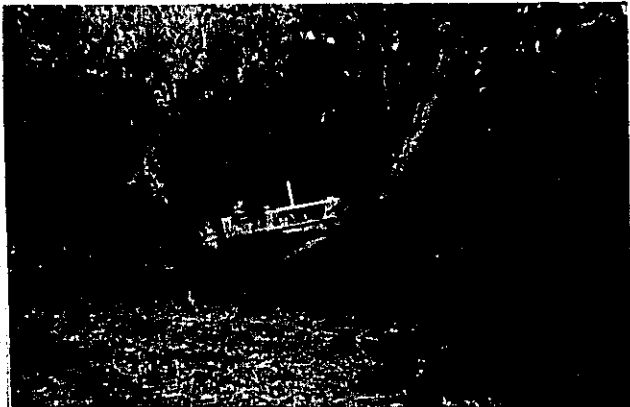
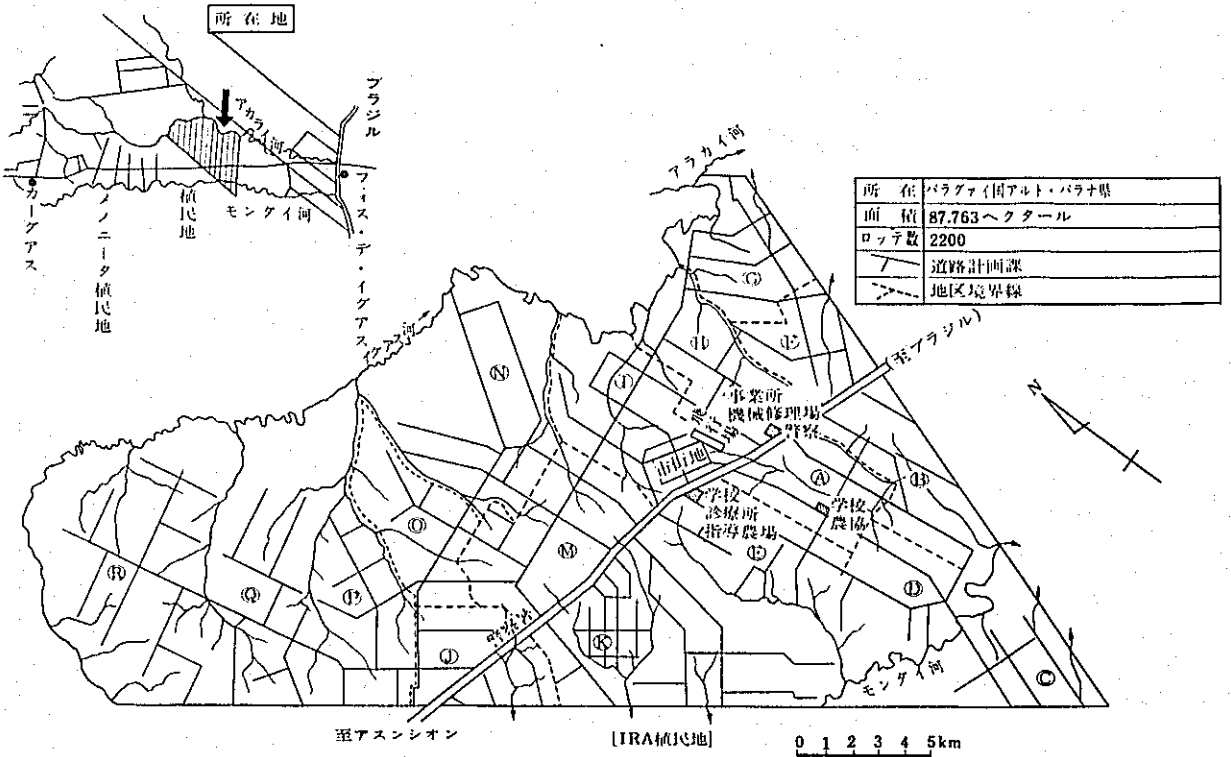


イグアスー移住地／イグアスー移住地はパラグアイ国東南部のアルト・パラナ県にありブラジルへ通じる国際道路をはさんでほぼ三角形をなし、その面積は87,763ヘクタールで、愛媛県の耕地面積とほぼ同じ大きさである。

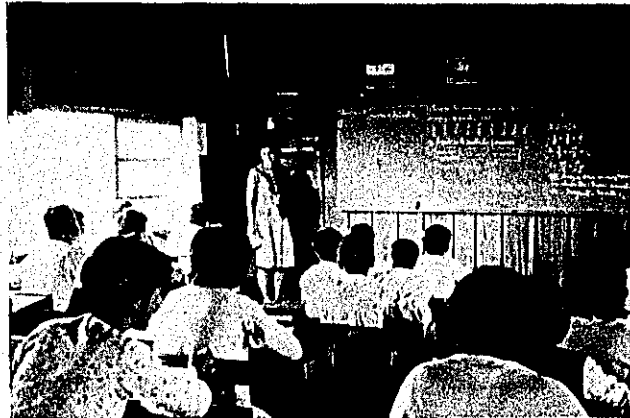


造成工事業所／この移住地は1960年に当事業団が購入したもので、将来2,000家族を入植させるべく造成工事を進めている。ここには当事業団のイグアス事業所、試験農場、診療所等があり、入植者のよりどころとなっている。

イグアス移住地



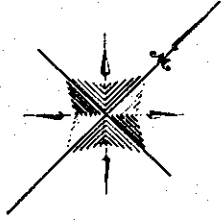
造成／この地域の標高平均は 250 m で移住地の北端をイグアス河、南端近くモンゲイ河が流れており、何れもパラナ河にそそいでいる。従って河川の沿岸は低地であるが、分譲対象地の大部分は波状形をなした台地で、全ての幹線道路は台地の峰を走っている。



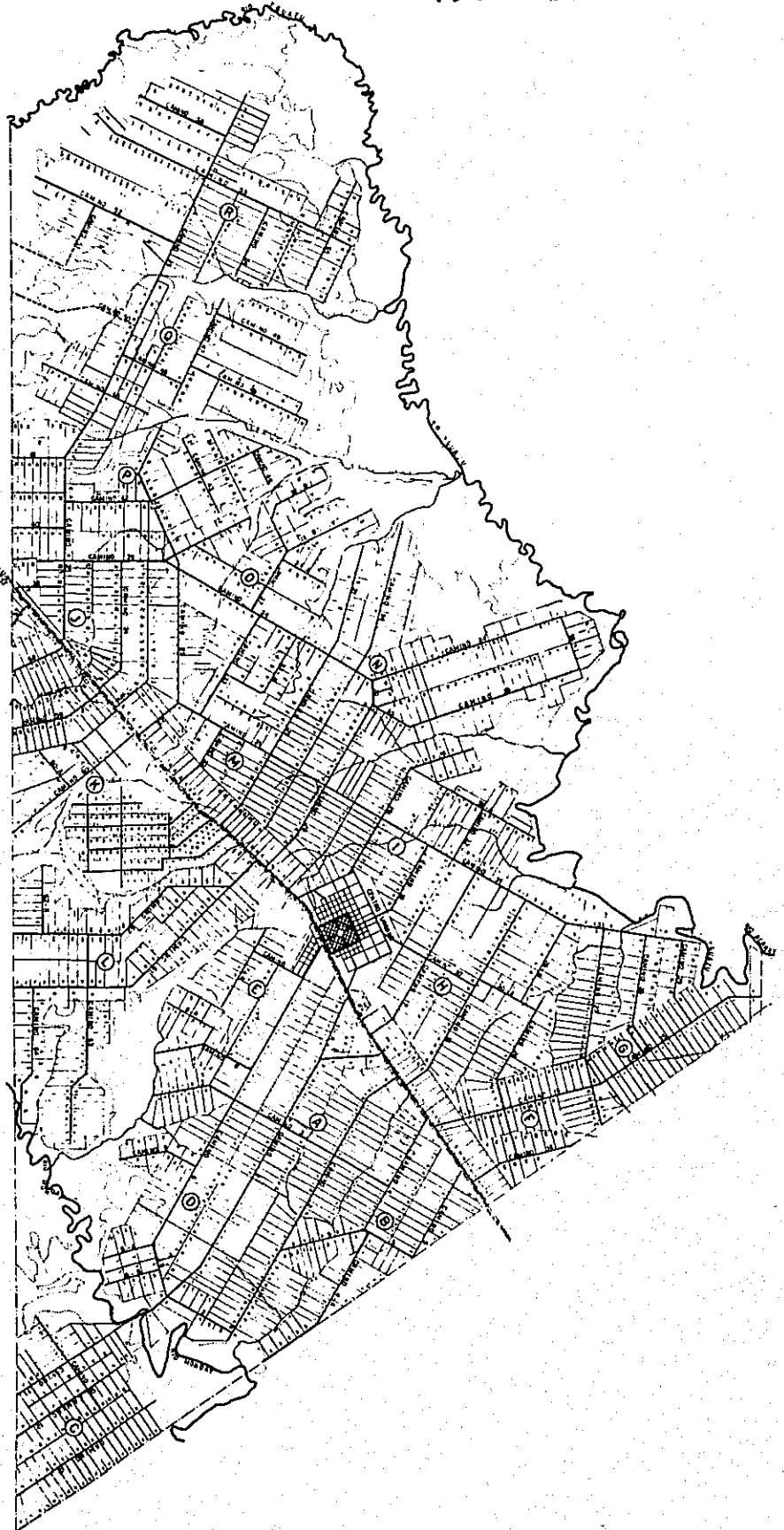
教育／パラグアイ国の教育制度は小学、中学、高校、大学とがあり、他に特殊学校として、士官学校、師範学校、商・工・農業学校、保健学校等がある。小学校は義務制で、移住地の教育は小学校から始まるが、教師は政府から派遣され学級担当教師は、概ね次の資格者である。

- 1年～3年……6級～7級
- 1年～5年……4級～5級
- 1年～6年……1級～3級

イグアスー移住地

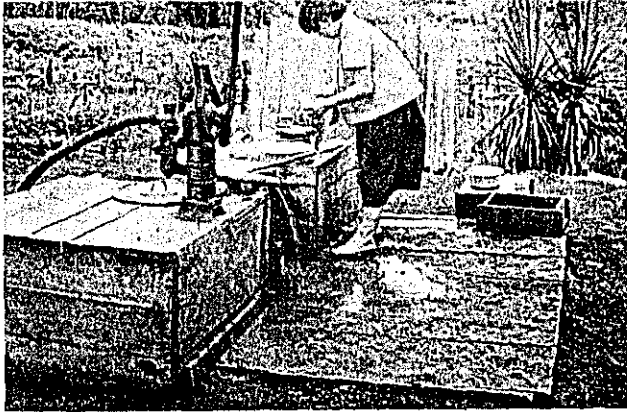
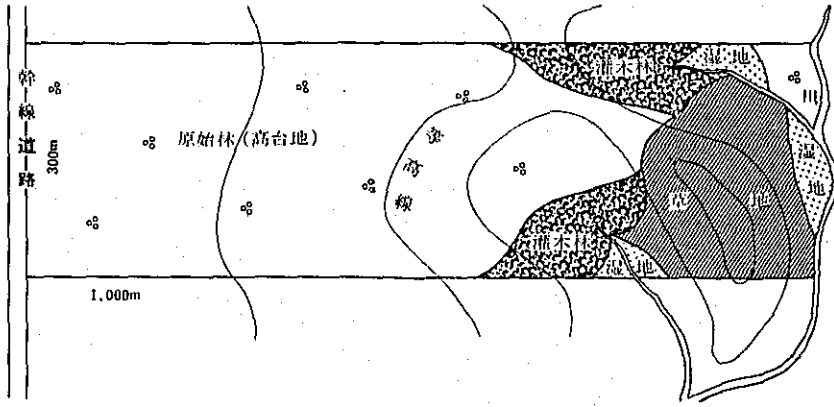


IMP. 22.12.58

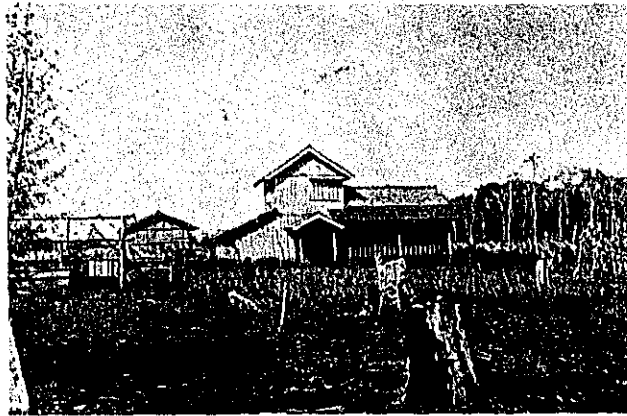


凡	例
RIO ACARAY	アカラワ河
RIO YGUAZU	イグアス河
RIO MONDAY	モンダワ河
CAMINO	道路(計画)
A-Q	区画記号
CENRO URBANG	市街地
	小河川
	地目界(No 2参照)
1 ロツテ=30ha	

ロッテ拡大図



衛生/移住地を流れる小川の水は、良質で水量も乾季以外は豊富であるが、家庭用には一般に井戸が使用される。診療所には現在日本人医師が駐在し診療にあたっているが、重傷、大手術の場合は移住地から41kmのプエルト・プレシデンテ・フランコの社会保険病院あるいは、アスンシオン市で施療することになろう。



住宅/入植当初の住宅は住居および倉庫を兼ねる堀立形式の仮建物であるが、山焼、植付等も一段落すると木造ではあるが、本建築を始める人が多い。この頃住宅の周囲は野菜畑、畜舎、果樹類、草花等の畑が整備される。

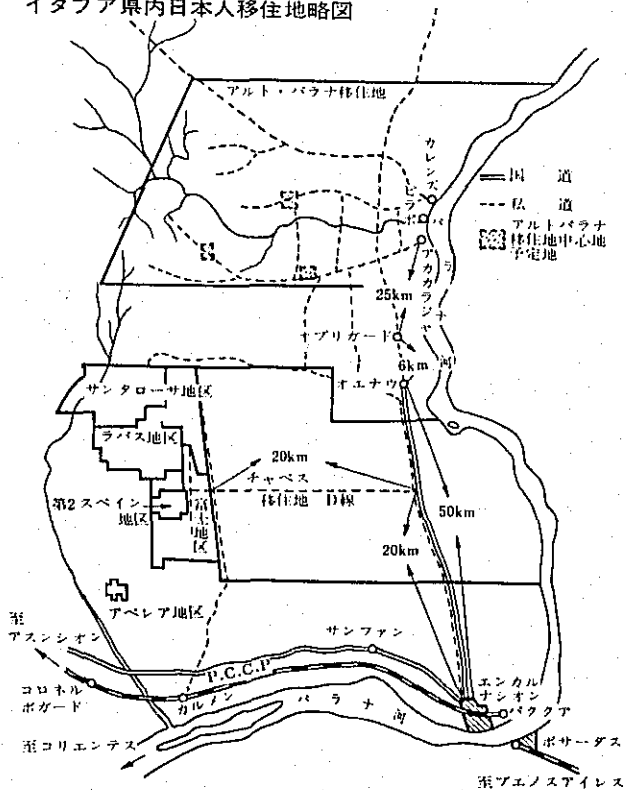


指導農場/入植当初、食糧作物、果樹、そ菜の自給化に加え、家畜の導入を行ない、それらにより豊かな食生活を計ることの指導、新品種の導入、試験栽培、種苗の頒布、栽培、営農指導等を行なっている。

アルト・パラナ移住地



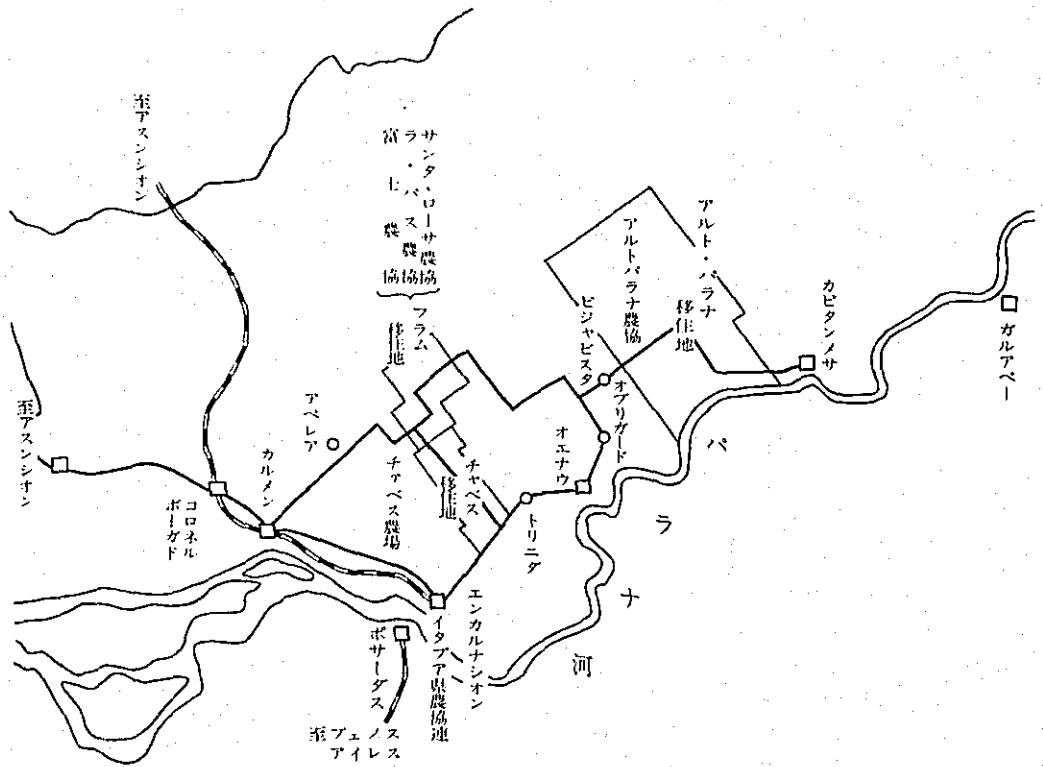
イタプア県内日本人移住地略図



畑／パラグアイの農業はいわゆる「捨う農業」といわれ、これは大農業を行なう当国では、なるべく経営費を低廉にしないと採算がとれないこと等から、収量の変動、一人当りの管理面積に制限があり、短期作物は経営の基幹となり難い。なるべく経営費がかからず、気象因子の制約もうけ難く、加工により小量で、高価で輸送に難を来たさない永年作物および家畜の導入が考えられている。



上／ツング（油桐畑）  
 下／小麦畑



アルト・バラナ移住地／アルト・バラナ移住地は、パラグアイ国第2の都市、エンカルナシオン市から65kmのところであり、バラナ河に沿っている。その面積は83,580ヘクタールで、佐賀県の耕地面積よりやや広い。移住地の地形は、全体として緩傾斜のある波状丘地帯で、地区内各所に小川が流れ、一区劃内(約30ヘクタール)には大体低地部と丘地部とがある。

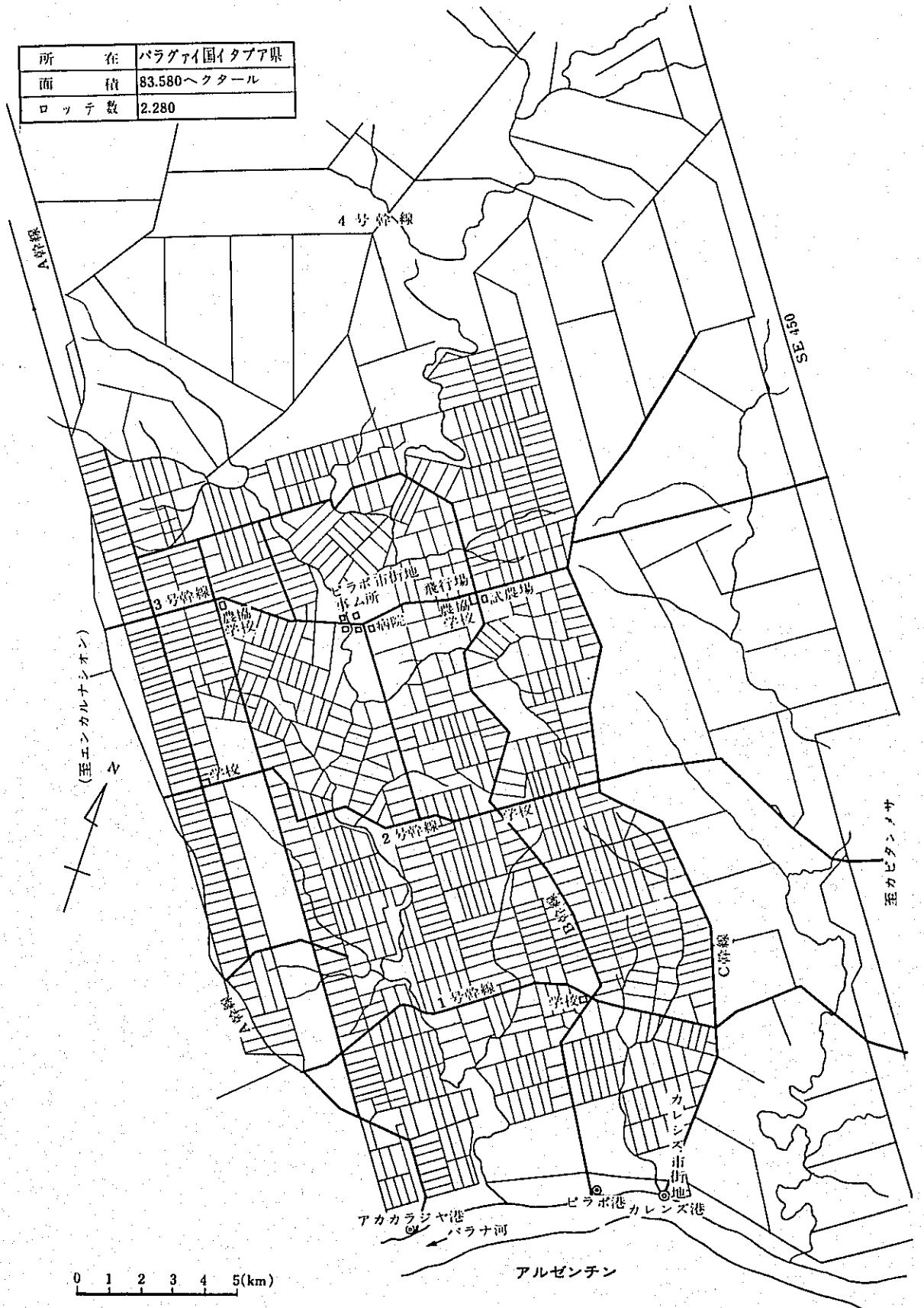


アルト・バラナ事業所／アルト・バラナ移住地はアカラジャ、ピラボ、カレンズーの3地区からなり、移住地のほぼ中心を流れるピラボ川をはさんで、742ヘクタールの市街地が建設されている。市街地には当事業団の事業所、診療所、教会、農協本部、電話局、警察署、市役所分室、総合運動場、飛行場等があり、すべての公共施設には配電されている。



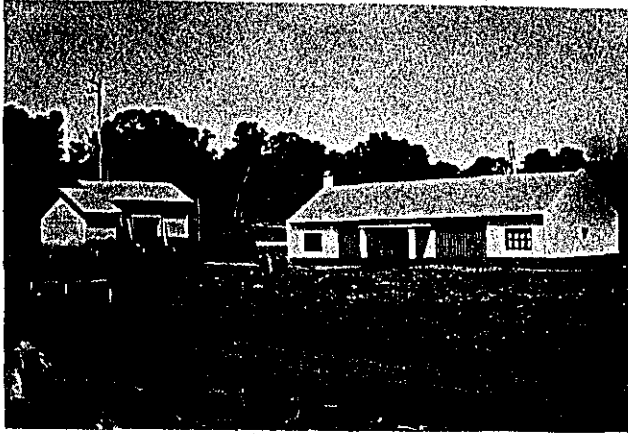
アルト・バラナ移住地

所在	パラグアイ国イタプア県
面積	83.580ヘクタール
ロッテ数	2.280

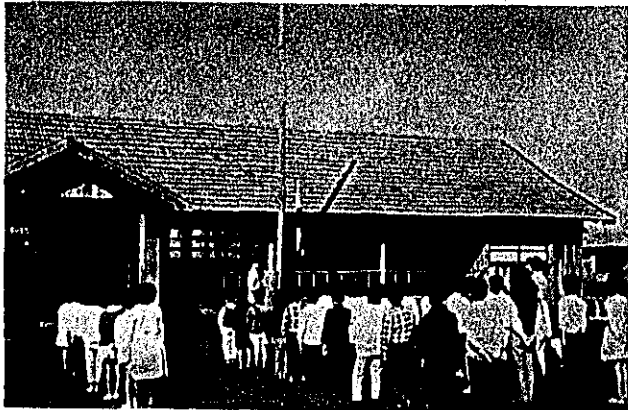


0 1 2 3 4 5(km)

アルゼンチン



アルト・バラナ指導農場／市街地から北東へ1.5 kmに200ヘクタールの試験農場があり、農場事務所、各種講習会場、作物収納場、各種試験室等の施設が完備され、営農に関する各種相談、指導を行なっている。



教育／移住地の学校教育は国語であるスペイン語で行なわれるために、移住者の子弟の全ては一年生から始められるが2～3年間で4～5年生に進級する例が多い。

イグアスー移住地

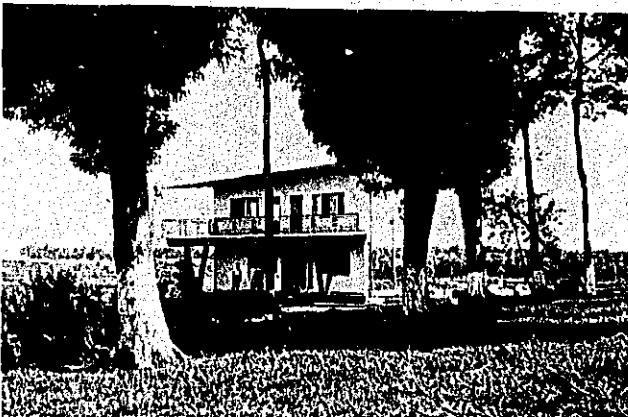
小学校1校、生徒数55名、教師2名

アルト・バラナ移住地

小学校5校、生徒数460名、教師11名



医療／移住地にはそれぞれ診療所があり、医療機械器具、専用診療ジープ等が配置され、医師は日本から派遣されて診療、衛生指導にあたっているが、しかし入植初期はどうしても無理をしがちであるので、十分な睡眠と食生活の改善により疲労の回復には、特に注意することが肝要である。これらの診療所における治療費は、すべて実費主義を採用している。



電報、電話局／移住地内にあるすべての公共施設には、電話が架設されており、アスンシオン市、エンカルナシオン市、オエナウ、オブリガート、カピタン・メサおよびアルゼンチンのボサーダス市等に直接電話連絡が出来る。他に無線設備もあり1日2回時間を定めて、アスンシオン、エンカルナシオン、フラム、イグアス移住地に直接通信ができると同時に、ラジオをもっている人はそれを聴取することもできる。



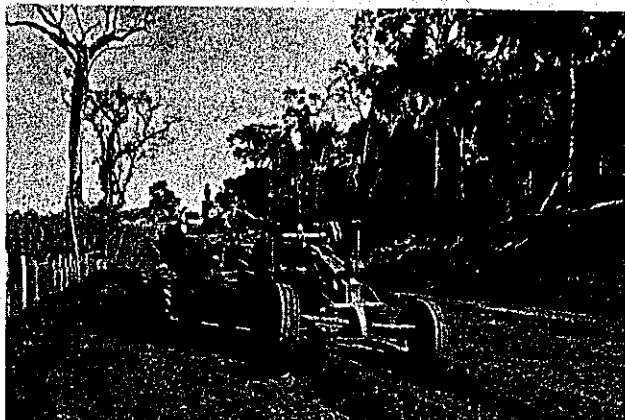
ピラポ飛行場 / 1,000mの滑走路をもつ飛行場で、セスナ型の軽飛行機から30人乗りのDC3型まで離着陸でき、緊急時その他に便利に活用されている。



アルト・パラナの穀物倉庫とカレンズ港 / この移住地で生産される農産物は膨大な量になるので陸上輸送のみでは処理が困難であり、1964年から築港が行なわれている。これが完成すれば5~600トン級が入港でき輸送量は3倍となり、逆に輸送費は半額になる予定。



ロッテ・アメントとロッテ / 移住地の開設は航空測量図、造成計画図が作成され、それにもとずいて実地測量し、造成工事、区劃工事が行なわれる。幹線道路の大部分は維持、管理等の理由から台地の峰を通過している。入植者に分譲する1区劃の土地は大体間口300m、奥行1,000mの30ヘクタール平均に区劃造成され、区劃の1辺が必ず道路に接している。1区劃は概略70%が平地、20%が緩傾斜地、10%が低地である。



## 開拓のあゆみ

道路造成 / 造成工事の大部分を占めるのは、道路工事でブルドーザー、スクレーパー、グレーダー等の重機械が活躍する。幹線道路用地幅は50m、車幅8m、支線道路用地幅は30m、車幅6mである。



到 港／日本から約40日の船旅を終え、フェノス・アイレスに上陸した移住者はアルゼンチンの通過検査をすまして、汽車で一路パラグアイに向う。約36時間でパラグアイとの国境ボサーダス市に着き、フェリーボートでパラグアイに入国する。ここで先輩移住者達の出迎えをうける



移住者センター／ここには当事業団の事業所センターがあり、税関検査、永住するために必要なすべての手続きがなされ、出迎えの先輩移住者と共にイグアスー、アルト・パラナの各移住地へ自動車で出発する。



仮宿泊所とロッテの選定／到着した移住者たちは、移住地の収容センター（後に小学校となる）に宿泊しながら、当事業団の案内で各自の入植する土地の調査が納得のゆくまで行なわれ、決定される。各自の土地が決定すると、宅地、稲、野菜等の作付場所を選定、1ヘクタール程度伐採、山焼きが行なわれ、仮住宅が建設される。この期間約1ヶ月は収容センターで生活する。



伐 採／センターで生活する1ヶ月の間に営農指導員、農協等の協力を得て各自の年間営農計画がつくられる。この計画にもとずいて伐採面積を決定、農協、警察署長立合いのもとに伐採人夫のあっせん、契約が行なわれる。1ヘクタール当りの伐採費は約8,000円前後である。



山 焼／契約が成立すると、人夫は雇主の指示に従って測量し、その面積の下草刈を行ない、本格的伐採にとりかかる。こうして伐採された樹木は枝打ちされて20～40日間乾燥され、葉類が落下しないうちに火がつけられるが、幹および太い枝類は完全に燃えきらないので、さらにこれらの枝類を集めて寄焼きが行なわれる。この頃になると入植時とは全く変わった風景となる。



播 種／第1年目はどうしてもとうもろこしの作付面積が多い、とうもろこし、稲、大豆、ポロト等播種には写真のような播種機が使用される。



とうもろこし／本当に知らしくなった土地には、トウモロコシ、大豆、マンディオカ、棉、その他の短期作物の播種が行なわれる。生育期間の短いものは70日位で収穫が始まる。種苗類は、日本の暖地で出来るものは殆んど栽培可能であり、各自の好みで自家用又は試作用として栽培されているが、販売換金用として多量に栽培する種苗は、現地で調達している。



油 桐／営農計画は、国内需要や輸出市場の見通しが確実で、栽培、貯蔵や加工および飼育の比較的容易な作物や家畜が対象となる。主体は永年作物や多年性作物で降霜のおそれのない土地では、ポメロ、パインアップル、バナナ等も栽培する。短期作物は水陸稲、大豆、トウモロコシ、小麦、煙草、ヒマ、落花生等であるが、換金用短期作物の栽培は、永年作物による収入が安定するまでの間のつなぎのものである。



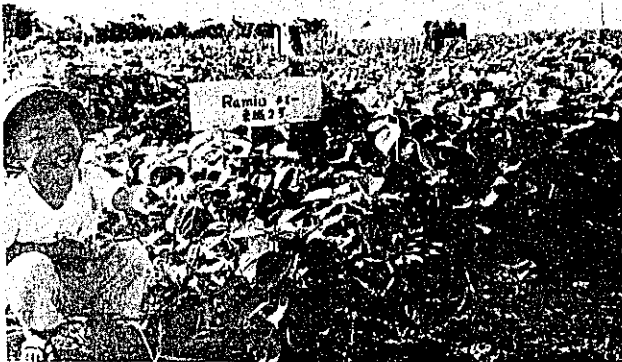
マテ茶／パラグアイ・アルゼンチン・ウルグアイ・ブラジルの一部の住民に日常なくてはならないものはマテ茶である。日本のお茶の味に似ていて、日本人移住者は、日本式の方法でマテ茶をのんでいる。マテ茶にはビタミン類と葉緑素の含有量が非常に多い。



水 稲／開拓および作付計画は土地の立地状況により多少変更されるが、稼働力、資金繰等を考慮して開拓および作付の進度を短縮、拡大することが大切であり、水利に恵まれた土地にあっては、水田の面積を拡大し、効率と収益をはかる。



果 樹／一方台地が多い土地には、永年性および多年性作物を主体とし、霜害のない台地にはブドウ、ポメロ、カルデロン等を植付けたり、改良牧野を設定して家畜の導入をはかる等土地の状態に応じた営農計画がすすめられる。



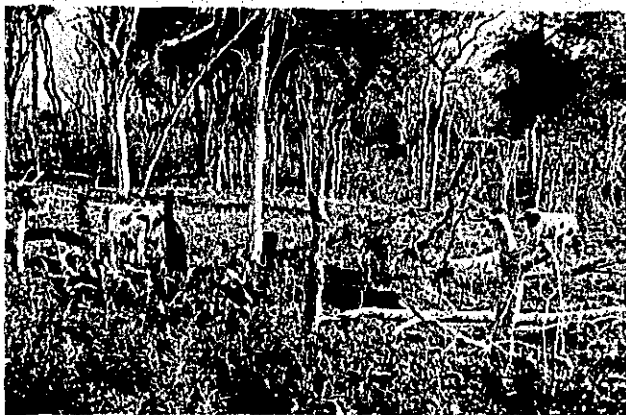
ラミー／営農計画は分譲をうけた土地の状態、当地方の慣行農法や入植者の意見および特技等によって自ら異なり、一律に定められないが、養畜を得意とする農家は、飼料作物を多くして家畜の飼養を盛んにし、あるいはラミー、煙草その他の特用作物の栽培に経験を有する農家は、特用作物に重点をおくといった具合に農家個々の経験や、技能を生かした営農方法を採用、自給体制を整え、豊かな生活設計が樹立される。



収 穫／作付計画は収穫時期が重複しないよう播種時期を調整することは、労力配分から大切である。入植初期は農地が整備されていないので、収穫作業に動力を使用することは不可能である。



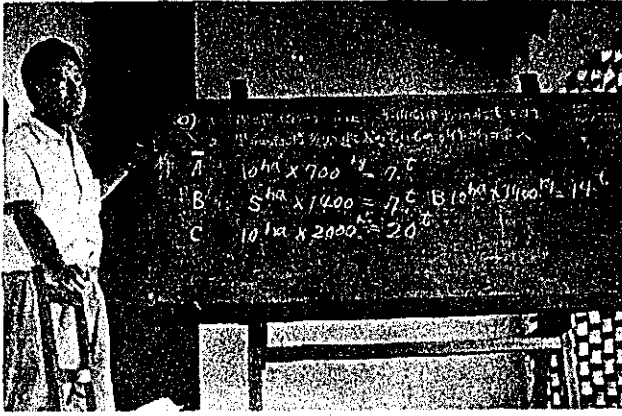
住 宅／入植当初の住宅は日本から携行された資材が中心となって建設されるが営農、生活等が安定するに従って、レンガを主体とした本建築が行なわれる。



牧 畜／フラム、アルト・パラナ移住地及びイグアス移住地では最近、家畜の導入が盛んになり、当事業団の営農基本計画と併行して大幅な導入計画が検討されている。特にイグアス移住地では、将来一戸当り70頭前後の飼育を検討している。



農業協同組合／移住地にはそれぞれイグアス、アルト・パラナ農業協同組合が組織されている。農協の活動は販売、購売、信用事業の本来の経済行為のみならず、移住者の受入、定着に必要なあらゆる仕事を分担している。新移住者に対する米、野菜類の配給もやれば婦人部、青年部を通じて文化活動、生活改善指導等も行なっている。



営農指導／イグアスー、アルト・パラナには試験農場があり当事業団の営農指導員が駐在して、指導にあっている。入植当初1ヶ年の生活費は約18万円、月当り1万5千円程度という事例がでている。この中には若干の炊事用具（約4%）嗜好品（約12%）が含まれているから、生活のやり方によっては、さらに低減させることも可能であろう。



レクリエーション／日曜、際日は原則として休業する。各家庭ではそれぞれ花壇作り、隣組宴会、魚釣りおよび婦人部や青年部の集会、見学会等各種のプランが実施される。春、秋の2回オールコロニヤ運動会、野球大会が開催される。移住地に常設の映画館がないので、学校等を利用して上映されるが、近郊の都市には常設館がある。

## パラグアイ国概況

面積／406.752平方キロ

人口／185万人

国語／スペイン語

宗教／カトリック教

通貨／ゲアラニー (G/s.)

政体／立憲共和政体

農業／可耕地 約4千万ヘクタール

既耕地 約40万ヘクタール(10%)

農業人口約95万人(全人口の55%)

農産物／マンディオカ粉、甘蔗糖、マテ茶、煙草、桐油、トウモロコシ、もみ米、ポロト豆、落花生、棉花、アルコール用澱粉、果実、搾油用種子、牛、馬、綿羊、山羊、豚、ケブラーチャエキス、木材、コーヒー、油ヤシ



海外移住事業団 都道府県事務所一覧表

地方事務所名	所 在 地	電 話 番 号	
東北ブロック	北海道事務所 札幌市北一条西5の3	北一条ビル内 (26) 0675	
	青森県事務所 青森市大字大野字長島1	青森県庁 開拓課内 (2) 1111	
	岩手県事務所 盛岡市大通1丁目2番1号	岩手県産業会館内 (3) 4723	
	宮城県事務所 仙台市勾当台通27	宮城県庁 農業開拓課内 (23) 6111	
	秋田県事務所 秋田市山王4の1の1	秋田県庁内 (3) 1111	
	山形県事務所 山形市旅籠町3丁目5番27号	山形県開拓会館内 (2) 9756	
	福島県事務所 福島市中町7番5号	福島県医師会館内 (2) 9014	
新潟県事務所 新潟市学校町1番町5290	新潟県庁 地方課内 (2) 0447		
関東ブロック	茨城県事務所 水戸市北三の丸1-19	茨城県庁内 (3) 3873	
	栃木県事務所 宇都宮市鳩田町504	栃木県庁 農地開拓課内 (2) 0003	
	群馬県事務所 前橋市曲輪町66	群馬県庁 文教外事課内 (2) 8585	
	埼玉県事務所 浦和市高砂町3丁目12の9	埼玉県農林会館内 (22) 3151	
	千葉県事務所 千葉市市場町2	千葉県庁 農地開拓課内 (2) 6111	
	東京都事務所 東京都港区赤坂田町7の1	信和ビル内 (582) 7959	
	神奈川県事務所 横浜市中区日本大通1	神奈川県庁内 (20) 4513	
山梨長野静岡	山梨県事務所 甲府市丸の内1丁目9番11号	山梨県民会館内 (2) 6763	
	長野県事務所 長野市大字南長野字南県町1-099	永ラクビル内 (3) 2909	
	静岡県事務所 静岡市追手町2-51	静岡県庁 農地計画課内 (54) 2056	
	東海北陸	富山県事務所 富山市新総曲輪1の7	富山県庁 農地開拓課内 (3) 4111
		石川県事務所 金沢市広坂通2	石川県庁 農地開拓課内 (61) 1111
		岐阜県事務所 岐阜市司町1	岐阜県庁内 (65) 4781
		愛知県事務所 名古屋市中区南外堀町6の1	愛知県庁 農地開拓課内 (97) 9974
三重県事務所 津市広明町1-3		三重県庁 開発拓植課内 (8) 1111	
近畿ブロック	福井県事務所 福井市御本丸町1	福井県庁 農業経済課内 (3) 0001	
	滋賀県事務所 大津市京町3丁目4番22号	滋賀会館内 (3) 0475	
	京都府事務所 京都市上京区小川通下立売上ル 勘兵衛町1-22の1	京都府自治会館内 (45) 4156	
	大阪府事務所 大阪市東区法円坂町1-0	農林会館内 (94) 3151	
	兵庫県事務所 神戸市生田区下山手通5の1	兵庫県庁内 (34) 0742	
	奈良県事務所 奈良市登大路町8	奈良県庁 農地課内 (2) 1101	
	和歌山県事務所 和歌山市小松原通1の1	和歌山県庁 移民課内 (3) 6111	
中国ブロック	鳥取県事務所 鳥取市東町1の220	鳥取県庁 農地開拓課内 7111	
	島根県事務所 松江市殿町19の1	農林会館内 (2) 7561	
	岡山県事務所 岡山市磨屋町9番18号	岡山県農業会館内 (22) 0882	
	広島県事務所 広島市基町1-0番地52号	広島県庁 総務課内 (21) 7411	
	山口県事務所 山口県吉敷郡小郡町大字下郷2-139	山口県農協会館内 (小郡) 100	
四国	徳島県事務所 徳島市万代町1	徳島県庁内 (3) 2990	
	香川県事務所 高松市八番丁1	香川県庁内 (3) 2111	
	愛媛県事務所 松山市味酒町1丁目1-0番5号	愛媛県庁 予防センター内 (3) 1793	
	高知県事務所 高知市帯屋町9-8	農協会館北側 (3) 6865	
九州ブロック	福岡県事務所 福岡市天神町1丁目1番1号	福岡県庁 渉外移住課内 (74) 8853	
	佐賀県事務所 佐賀市赤松町3-5	佐賀県庁 農地開拓課分室 (4) 1541	
	長崎県事務所 長崎市出島町1の5号	みさとビル内 (2) 4263	
	熊本県事務所 熊本市上通町2番21号	(53) 4227	
	大分県事務所 大分市荷揚町2番33号	教育会館別館内 (3) 0886	
	宮崎県事務所 宮崎市宮田町1の78	燃料会館内 (2) 2690	
	鹿児島県事務所 鹿児島市山下町6-8	鹿児島県庁 農地開拓課内 (3) 3601	

# 海外移住事業団

東京都港区赤坂田町7ノ1 信和ビル内

電話 (582) 0411